

# 高城まちづくりニュース 第2号

今一色 874 番地 399 今一色公民館内「高城まちづくりの会」

2014.1 発行

まず最初に・・・発行が大変遅くなり申し訳ありません。

「高城まちづくりの会」は、昨年6月16日の平成25年度総会において新しい役員体制となり、副会長に『長谷川和秀さん』が就任しました。理事には、それぞれの団体役員から代表等が改選、また、参加団体として、新たに『高城太鼓』と『今一色スポーツ少年団』が加わり活動が始まっています。

7月18日に行なわれた役員会では、3委員会を設置するとともに、7月28日の委員会それぞれの委員会の活動内容を検討しましたので紹介します。

## みらい委員会（地域の活性化などの分野）・・・

少子化に対する勉強会、地域活性化の企画事業など

（委員長：大西健一さん、副委員長：大井戸猛志さん・中村まなみさん）

## あんしん委員会（防災・防犯などの分野）・・・

コミュニティ放送設備の整備、避難場所や防犯に対する見直しなど

（委員長：杉浦和憲さん、副委員長：中村裕次さん、中村照子さん）

## おもいやり委員会（地域コミュニケーション・環境などの分野）・・・

少子高齢者に向けた取り組み、地域の環境整備など

（委員長：松井光雄さん、副委員長：松本智美さん）

しばらくの活動内容は ～～～ コミュニティ放送の整備、防災対策、小学校の児童が減少していく中で今一色小学校の存続問題の勉強会を行なうこと、また、地域高齢者の憩いの場を作りたいなど問題が山積みですが、住みやすい今一色地区を目指すことを将来目標に、地区内の意見をいただきながら、事業を検討していきます。（裏面に25年度の活動の途中経過報告を記載しました。）

## 高城まちづくりの会事務員を募集しています。

急 募

就労場所：今一色公民館内事務室

就労条件：平成26年3月31日まで（年度で期間更新有）

原則、毎週 月～金 午前9時～12時（相談に応じます）

休日や夜に行事があるときは優先し、振替または代休対応

給 与：時給800円（通勤費は支給なし）、会議・出張等は費用弁償有り

社会保険なし、雇用保険なし、労災保険加入

仕事内容：高城まちづくりの会の経理・事務全般、行事における作業・進行等々

応募要件：パソコンの出来る方（ワープロ、表計算、チラシ作成等）

65歳まで（男女問わず）

※ 応募いただける方は、会長（濱條清子）までご連絡ください。

裏面へ

## 9月29日 少子化の勉強会・会議

今一色公民館で市教育委員会から説明を受け、今後の今一色小学校の児童数の推移状況を聞く機会を設けました。以前、回覧でお知らせしたとおり、児童数の減少の想定が誤っていたことから、男女比の比率や複式学級、また、他校との合併の必要など、深刻で早急な対応が必要な状況になっています。子どもの未来が今一色地区で今後どうあるべきか、若い年代層の意見や要望などもっと声を上げることが必要な時期になっています。（みらい委員会）

## 12月1日 防災訓練

区の行事と連携した協力体制により行いました。放送に合わせた今一色小学校屋上への避難行動から始まり、土嚢作りによる水防訓練、消火器放水訓練、バケツリレーなど盛りだくさんの内容になりました。小学校の児童にとっては、避難体験を通じて日頃から意識を持つことの重要性の発表もあったところです。晴天に恵まれ、400人を超える参加があり、今一色地区の防災意識の高さを思い直しました。（おもいやり委員会）

## 12月8日 枝木の伐採

高城神社から高城保育園にかけての道路沿いと、それぞれ浜に向かう道路の枝木が繁っていて防犯灯の明りが遮られていたことから、区役員とともに枝木の伐採を行いました。半日掛かりで約40人程度の動員になりましたが、道路が明るく照らされ、夜も走りやすくなりました。今後も、「地域で出来ることは地域で…思い立ったら即実行」を意識しながら行動していきます。

（おもいやり委員会）



## 12月 コミュニティ放送機器の取りまとめ

旧二見町での個別放送無線機が廃止になることから、地区独自での個別受信機の設置のとりまとめを行ない、393件の申し込みがありました。この受信機は、市の行政放送、区の地域放送を受信できるもので、地域の情報を知る上で欠かせないものになります。納品は3月初旬の予定です。（あんしん委員会）

## 1月11日 静岡県袋井市へ命山と避難タワーの視察

関連団体計37名で静岡県袋井市に大型バスで命山と避難タワーを視察しました。命山とは、地域ではその昔、津波の際に非難した小高い丘の呼び名を模したもので、高さが海拔10m、収容人員1,300人で、今後も3ヶ所ほど予定をしているとのこと。海拔12mの砂防から1.3kmの距離に建設され、今回の建設費は土地、土砂代を入れず1億4千万円程度、避難タワーの収容人員は270人で約1億1,500万円でした。海岸の状況を考えると、今一色地区のほうが危機迫る状況を感じさせられました。私たちの地区ではどうあるべきか、地域で意見を出し合い考えて行きましょう。（あんしん委員会）

